



2025 春 号

No. 129

～特 集～

【河川の魅力と賑わい】

・大阪府

水辺の賑わい創出の取り組みについて

・三重県

ダムを活用したインフラツーリズムについて

・大阪市

東横堀川のかわまちづくり「暮らしの水辺の再生」について

～トピックス～

・滋賀県

第16回 淡海の川づくりフォーラム開催！

・二級日高川水系西川の特定都市河川指定!!

～きんきのダム巡り～

・兵庫県

引原ダム

～インフォメーション～

・お花見スポットを紹介！！

・淀川大堰閘門「淀川ゲートウェイ」が完成！

・さらさ担当者

今年1年を振り返って





武庫川桜づつみ回廊

武庫川（むこがわ）

武庫川は、兵庫県丹波篠山市から、阪神地域を貫流して大阪湾に注ぐ、約500kmの流域を持つ二級河川です。表紙の写真は、兵庫県三田市の「武庫川桜づつみ回廊」です。見頃にあわせて、「さんだ桜まつり」や、500mにわたって桜のライトアップが行われる「武庫川さくらと灯りのプロムナード」などが開催され、多くの人で賑わっています。



さんだ桜まつり

三田市武庫川沿いに植えられた、約4千本の桜を楽しむため、三田市が開催するイベントです。野外ステージイベント、飲食・物販・ワークショップの出店などが行われ、夜には「武庫川さくらと灯りのプロムナード」と銘打ち、チエリーぼんぼり約180個が設置されます。



武庫川さくらと灯りのプロムナード

水辺の賑わい創出の取り組みについて

大阪府 都市整備部 河川室河川環境課

○ はじめに

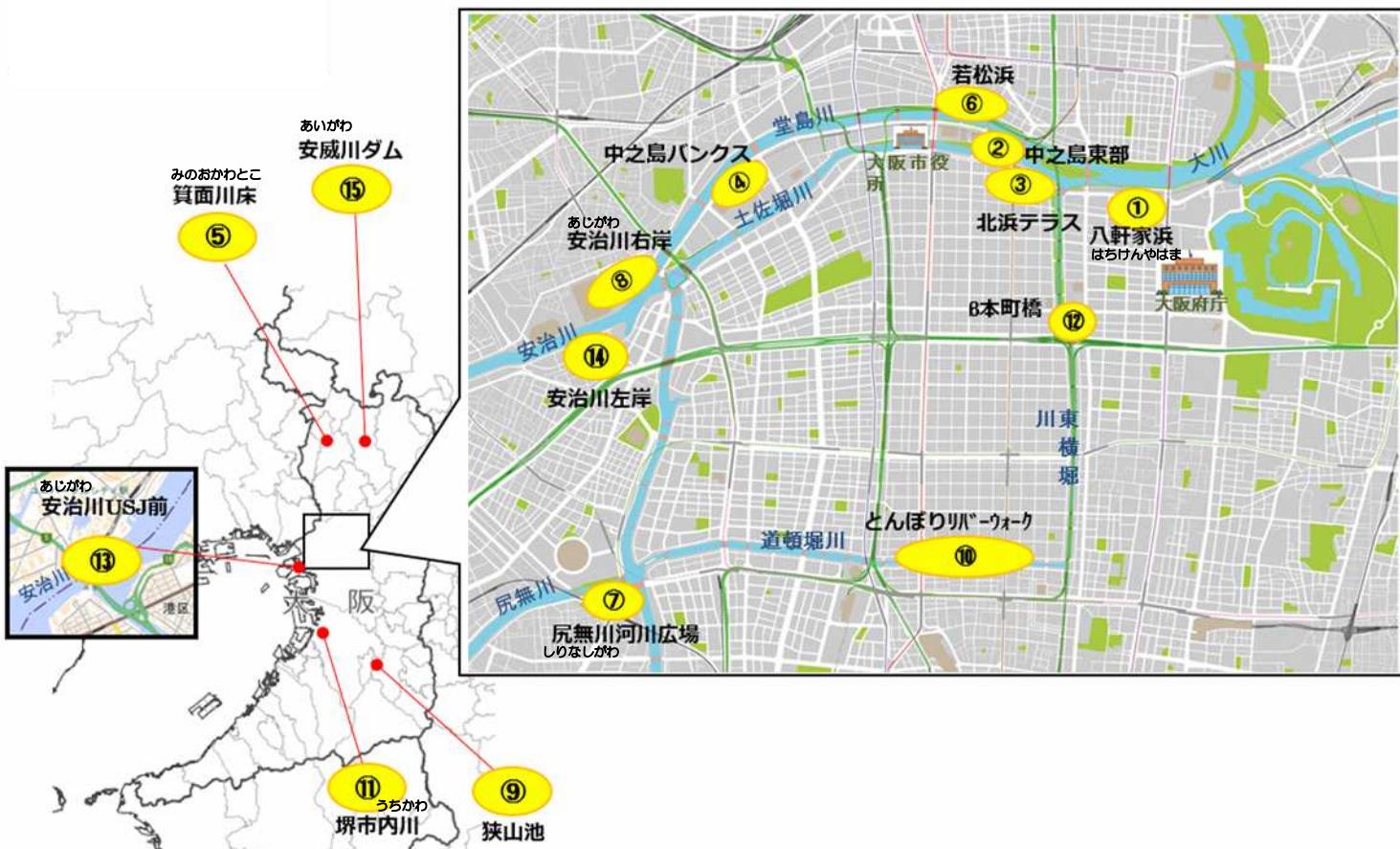
大阪府では、美しく魅力ある水辺空間の文化を創造する『水都大阪』を目指して、街づくりと一体となった整備を進めてきました。水都大阪の取り組みとしては、平成23年に「河川空間のオープン化」第1号として指定した旧淀川（大川）八軒屋家浜を皮切りに堂島川、土佐堀川、木津川、道頓堀川、東横堀川に囲まれた「水の回廊」を中心として、水辺の魅力向上や舟運の活性化を進め、その後は北摂地域の箕面川^{みのおかわ}や安威川ダム、南河内地域の狭山池ダムなどでも水辺の賑わい創出の取り組みを進めてきました。今回、これまで府内で取組んできた水辺の賑わい創出と2025年大阪・関西万博に向けた今後の取り組みについてご紹介します。

○ 事業の概要

大阪府域では河川空間の利活用として、民間による水辺での事業参入に必要な河川敷地占用許可準則に基づく「都市・地域再生等利用区域」（河川空間のオープン化）現在15箇所が指定されており、レストランやカフェ等が設置され、水辺の賑わいが創出されています。

河川管理者としては、治水、利水、環境面に支障が生じないことや、利活用の計画、地元との合意形成、利用者の安全確保などを確認するとともに、「大阪府河川水辺の賑わいづくり審議会」において有識者のご意見も踏まえながら、「都市・地域再生等利用区域」の指定を行っています。

都市地域再生等利用区域の指定状況



○ 賑わい創出事業、イベント開催状況

河川空間のオープン化を活用した賑わい創出が進められ、それぞれの箇所で毎年様々なイベントが開催されています。



①水辺のレストラン



①北大江たそがれコンサート



④中之島なつまつり



⑤箕面川床



⑦タケピク



⑨狭山池まつり

○ 2025大阪・関西万博に向けて

現在、2025年大阪・関西万博の会場から大阪市内観光地への誘客や中之島の東西軸の活性化を図るため、安治川右岸の「ノースピア（福島区）（前頁指定区域⑧）」と左岸の「サウスピア（西区）（前頁指定区域⑭）」から成る中之島ゲートエリアにおいて賑わい施設の誘致や船着場の整備を進めています。

中之島ゲートエリアはサウスピアにおいて、2025年4月のオープンを目指して、万博会場と大阪市内を船で結ぶための乗り換えターミナルとしての公共船着場を整備するとともに、民間事業者においてレストランなどの賑わい施設の整備が進められています。



○海船と川船の乗換ターミナル機能を有する、公共船着場の桟橋を整備しています。

○賑わい施設では、バーベキューなどが楽しめるレストランや憩いの場として多目的広場などを整備し、地域と連携したイベントの開催を予定しています。



ダムを活用したインフラツーリズムについて

三重県 県土整備部 河川課

○ 君ヶ野ダム 秋のライトアップについて

令和6年11月8日（金）～11月10日（日）に雲出川水系八手俣川にある君ヶ野ダムで秋のライトアップ実証実験を行いました。ライトアップの目的は、建設業・インフラの魅力発信及び地域内の観光振興による賑わいの創出です。来訪者には通常のダムカードと、普段配布していない限定カードの配布も行いました。

通常ダムカード



限定ダムカード



また、今回は2回目の開催となるため、地域との連携を強化し、同地区美杉町内で開催される「北畠神社ライトアップとの共催」・ダムに隣接する「レークサイド君ヶ野の夜間営業」を新たな取組として実施しました。レークサイド君ヶ野で飲食された方に限定缶バッジの配布も行いました。

限定缶バッジ



※主催：地元自治会、後援：津市

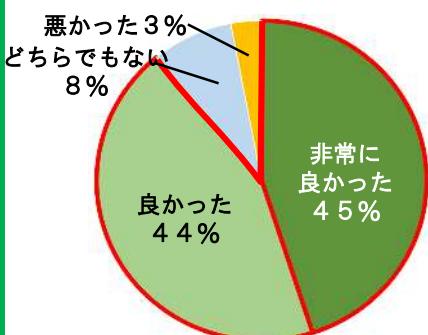


※主催：津市

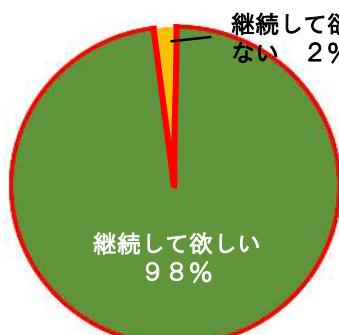
○ 来訪者の声

来訪者から多くのご意見をいただき、89%が満足、98%が継続を希望する結果となりました。情報発信としてSNSを積極的に活用した結果、新聞記事・ネットニュースにも掲載され、来訪者の約4割が市外・県外からの訪問となりました。次回に向けたご指摘もいただいているため、より満足度の高いライトアップを目指していきます。

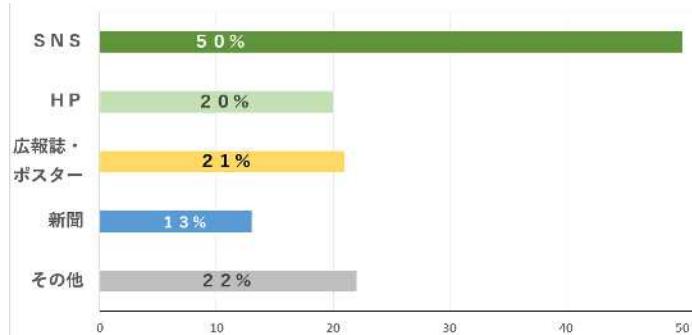
■ライトアップの満足度



■今後も継続して欲しいか？



■今回の開催を知ったきっかけは？（複数回答）



○ 鳥羽河内ダムについて

鳥羽河内ダムは、二級河川加茂川水系の治水計画の一環をなすものとして、建設する治水ダムです。加茂川流域は、過去からしばしば水害に見舞われ、昭和34年9月の伊勢湾台風をはじめ昭和57年8月及び昭和63年7月の集中豪雨では、各所で氾濫し災害をもたらしました。このため、三重県では昭和63年度から5年間で大規模な加茂川の河川改修を行いました。引き続き流域の治水安全度を高めるため、令和10年度の完成を目指してダムを建設中です。

完成イメージ



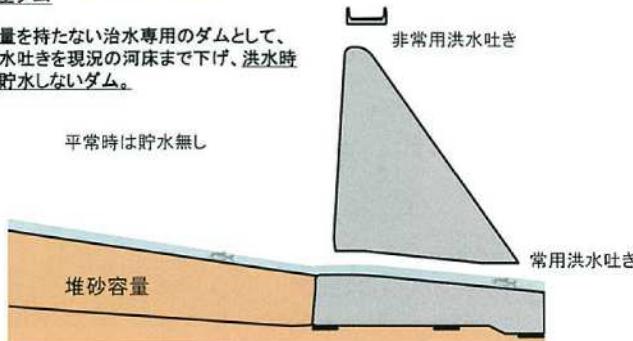
○ 鳥羽河内ダムの目的

大雨の際にダムへ流れ込む洪水の一部を貯水池に貯め込み、下流に流れる水量を一時的に減らし洪水を防ぎます。全国的にも珍しい普段は水を貯めない「流水型ダム」という形態です。計画流量300m³/sのうち240m³/sの洪水調節を行います。

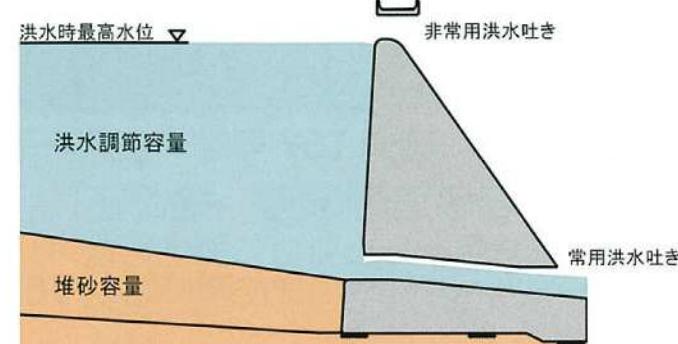


平常時

※流水型ダム
利水容量を持たない治水専用のダムとして、常用洪水吐きを現況の河床まで下げ、洪水時以外は貯水しないダム。



洪水調節時



○ 鳥羽河内ダムカレー

令和6年10月8日（火）から、4店舗（鳥羽市3店舗、志摩市1店舗）で鳥羽河内ダムをモチーフにしたダムカレーを販売しています。ダムカレーを食べると、それぞれの店舗で全4種類の限定カードが入手できます。（鳥羽市1店舗は令和7年1月末で終了）

表面

河川課ダム班マスコット
キャラクター「はだむくん」



裏面



○ おわりに

ダムを活用したインフラツーリズムを通じてより一層ダムの役割・取組に興味を持っていただけすることを期待しています。引き続き、より多くの関係者と連携して治水対策に取り組んでいきます。

東横堀川のかわまちづくり 「暮らしの水辺の再生」について

大阪市建設局道路河川部河川課

○ 東横堀川について

東横堀川は、大阪の都心部を南北に流れる本市管理の一級河川です。南は本市有数の繁華街「ミナミ」を流れる道頓堀川、北は文化施設・金融機関が集積する中之島を流れる土佐堀川につながっています。

東横堀川は、大阪城築城にあわせて外堀として開削され、舟運により「天下の台所」大阪の繁栄を長きにわたり支えました。しかし、陸上輸送が主役となるにつれて多くの堀川は埋め立てられ、埋立てを免れた東横堀川でも上空を高架道路が覆うこととなりました。また、度重なる高潮被害を受け、まちを水害から守るため、高い護岸を整備した結果、川とまちとは隔てられ、現在でも建物は河川に背を向けた閉鎖的な空間となっています。



現在の東横堀川

○ 「水都大阪の再生」と道頓堀川から東横堀川の水辺整備

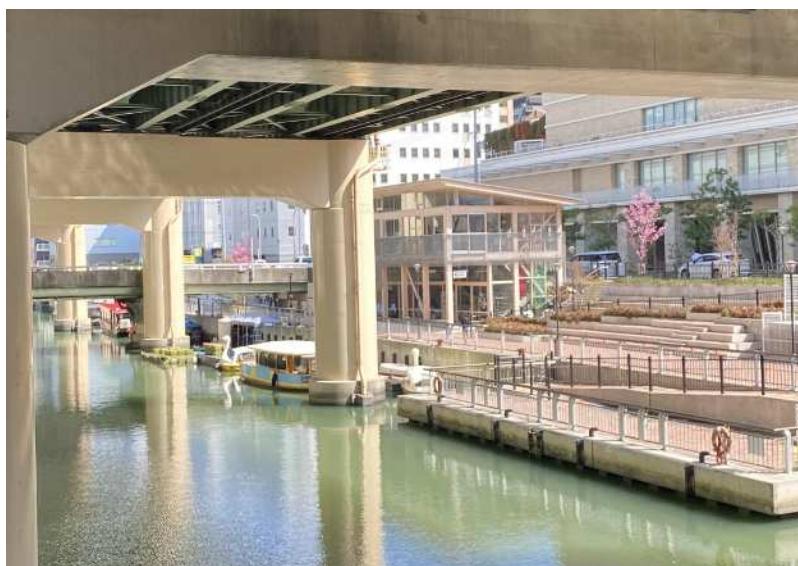
大阪は水運を利用して経済と文化の中心都市として発展し、明治時代には「水の都」と呼ばっていました。そんな活気ある賑やかな水辺の生活を取り戻すべく、国・大阪府・市・民間との連携で取り組むプロジェクト「水都大阪」がスタートし、大阪の中心を口の字に囲うように流れる「水の回廊」を中心に公民連携で取組を進めてきました。

大阪市では、全国に先駆け、規制緩和を活用して道頓堀川の水辺整備を行い、整備された遊歩道「とんぼりリバーウォーク」は大阪を代表する観光地となりました。

現在、東横堀川においても、令和3年8月には公募された民間事業者が運営する「β本町橋」が開業するなど、水辺利活用への機運が高まってきています。また、令和6年3月には、めざす水辺空間の考え方を示し、今後の整備の取組方針と進め方について取りまとめた「東横堀川等の水辺の魅力空間づくり基本方針」（以下、「基本方針」）を策定するなど、耐震護岸への改修とあわせた水辺空間づくり「暮らしの水辺の再生」に取り組んでいます。



水の回廊



水辺のにぎわい拠点「β本町橋」

○ 「暮らしの水辺の再生」について

基本方針では、めざす水辺空間の1つに「公民連携で「育てる」質の高い水辺」があり、市民や事業者のニーズを積極的に取り入れ、行政・民間で対話しながら、ともに東横堀川周辺を“育てる”（公民連携で取り組む）ことをめざしています。

水辺整備に地域ニーズを反映するためには、空間的な制約条件や運用ルールなどの懸念事項も考慮した判断が必要となるため、地域対話により把握したニーズに対して社会実験で検証を行っています。



地域対話

○ 水辺の新たな利活用実験「東横堀川リバーテラス2024秋」

令和6年10月、さまざまなプログラムを通じて、東横堀川の新たな魅力空間づくりのための課題検証と、今後の水辺の利活用を推進するための社会実験を実施しました。

社会実験では、まちと川をつなぐために閉ざされたみち・通路などを開放することで、水辺の回遊性を向上し、通行量の変化や人の動きを検証しました。あわせて、水辺を眺められる「リバーテラスベンチ」を設け、一般参加者と一緒にかざぐるまを作つて飾りつけをするなど、滞在したくなる空間づくりを行いました。また、休日のビールイベントや平日のランチキッチンカーなど、東横堀川を訪れるきっかけづくりとなるようなイベントを実施し、みんなが集える空間を創出しました。



リバーサイドビアホール



閉ざされたみちの開放

○ おわりに

今年の4月13日から大阪・関西万博が開幕します。β本町橋と万博会場を船でつなぐ航路も開設されるなど、万博にあわせて様々な取組みを予定していますが、一時的な賑わいで終わることのないよう、地域や水辺に関心のある人達と協働し、多様な機関との連携を図りながら、継続した取り組みを進め、東横堀川を中心とした、かわまちづくりをめざしていきます。



めざす水辺空間のイメージパース（基本方針より）

第16回 淡海の川づくりフォーラム開催！

滋賀県 土木交通部 流域政策局 広域河川政策室
(淡海の川づくりフォーラム実行委員会事務局)

○第16回淡海の川づくりフォーラムを開催しました

令和6年12月1日(日)に「第16回淡海の川づくりフォーラム」(主催:淡海の川づくりフォーラム実行委員会/滋賀県、共催:マザーレイクゴーラズ推進委員会、後援:滋賀県河港・砂防協会)を滋賀県米原市役所のコンベンションホールにて開催しました。

16回目となる今回は、県内外から13団体の参加があり、学生など若い方々から、地域に根差し長年活動されている方々まで、幅広い世代から多岐にわたる取組を発表していただきました。一般参加者も加わり、水辺を愛する方々により熱い議論と交流ができました。

全体発表(午前)
参加全団体が発表します。



テーブル選考(午前)
参加団体がグループに分かれて議論をして推薦する活動を決めます。

選考員の推薦により全体討論へ

全体討論(午後)
テーブル選考、復活選考を経て、推薦された“きらり”と光る活動を学びながら、“川や水辺と私たちの関係”について議論を深めています。



テーブル選考で十分にアピールできなく
ても、“きらり”と光る活動には・・・

復活選考(昼)

ポスターセッションによりテーブル選考では十分に探れなかった活動をさらに深掘りします。

選考員の推薦により全体討論へ

○淡海の川づくりフォーラムとは？

淡海の川づくりフォーラムは、滋賀県流域治水条例第34条に基づく県民相互連携の取り組みであり、川や水辺にまつわる活動を実践されている皆さんとともに、“川やびわ湖、水辺と共生する暮らし”、“川やびわ湖、水辺と私たちのいい関係”について議論を深める公開選考方式のワークショップです。受賞団体を決めることが(順位付け)はあくまでも手段であって、議論と交流を通じて、お互いの活動の「よいとこ探し」をして、讃めあい、元気になることが目的です。

○フォーラムの様子

★ 全体発表



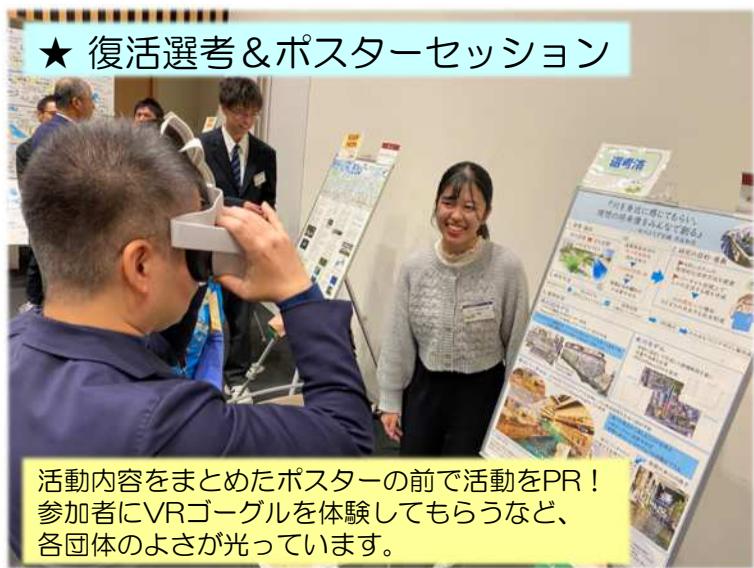
1団体3分で活動をアピール！

★ テーブル選考



全体発表で語り切れなかったことの説明や
選考員との議論を通じて、それぞれの活動
について理解を深めます。

★ 復活選考&ポスターセッション



活動内容をまとめたポスターの前で活動をPR!
参加者にVRゴーグルを体験してもらうなど、
各団体のよさが光っています。

★ 全体討論



○発表団体と当日の選考結果

	団体名	テーブル選考結果	復活選考結果	活動内容（活動地域等）
A-1	川のおぢさん がわと			びわ湖で遊ぶことを通じて、様々な学びを提供 次世代へびわ湖愛を繋ぐ（琵琶湖 大津市）
A-2	NPO法人 国際ボランティア学生協会(IVUSA)	○		外来水草オオバナミズキンバイの除去活動の実施 学生のマンパワーを活かした活動（琵琶湖（守山市、高島市）、鴨川）
A-3	THEシガパーク推進会議			琵琶湖岸公園の魅力アップ・発信と管理 利用者のマナー改善への取組（琵琶湖岸の県営公園 草津市ほか）
A-4	淡海を守る釣り人の会	○		釣り人主体による宇治川の清掃活動 環境保全の意識向上と川好きな人の増加を目指して活動（宇治川 伏見区）
A-5	日本潜水連盟		○	琵琶湖の湖底を、ダイバーと陸隊が協力して清掃 ダイバーを活用した様々な活動を実施（琵琶湖）
B-1	滋賀県土木交通部流域政策局 河川・港湾室			子どもたちに川の環境や魅力を知ってもらうことを目的に、出前講座やイベントにおいて、川の環境教育や体験の機会の場を提供（家棟川 野洲市）
B-2	応援の花咲いた賞 玉ーアクアリウム		○	1年を通して週に1~2回、明石川水系で生物多様性保全活動を実施 環境の変化をいち早く知るために調査を継続（明石川 兵庫県西区）
B-3	準グランプリ 米川よろず会議	○		米川に関する情報の集約や将来イメージの共有、研修会の開催などを実施 VR技術を用いてバーチャル空間にて議論や修景の試行を行う（米川 長浜市）
B-4	日野川流域まもり隊	○		ごみ拾いを通して日野川とその周辺の状況を監視 昨年度の参加以後、新たな団体と交流などより広く活動（日野川 近江八幡市）
C-1	グランプリ 家棟川・童子川・中ノ池川に ビワマスを戻すプロジェクト	○		10年目となる活動により、R6年3月に本設魚道の設置に至る LINEオープンチャットを用いて新たな情報共有を実施（中ノ池川 野洲市）
C-2	山紫水明賞 小さな自然再生ネットワーク	○		朝鮮通信使の記録にも登場するほどホタルの有名なところであった締町川があるき、川を観察し、ホタルの生息域を拡大を目指して活動（中の井川 栗東市）
C-3	京都産業大学現代社会学部 鈴木ゼミナール		○	アンケート調査、データ解析を通じて鴨川デルタの魅力を可視化 鴨川デルタ水の聖地を巡るガイドウォークの開催（鴨川・鴨川デルタ）
C-4	MLGs賞 Tabiwa Next			サイクリストや観光客の満足度向上を図る方策を検討 滋賀の自然と共生する新たな観光の形を創造するため活動を行う（びわ湖、瀬田川）

二級日高川水系西川を 特定都市河川に指定!!

和歌山県 河川課

- 和歌山県では、気候変動により激甚化・頻発化する水害に備えるため、流域のあらゆる関係者の協働により水害対策に取り組む「流域治水」の取組が進められています。
- 「流域治水」の本格的な実践に向けた取組として、特定都市河川浸水被害対策法に基づき、令和7年1月28日に日高川水系西川が特定都市河川に指定されました。
- 近畿管内においては、法改正後の指定は、大和川に続いて2事例目、知事指定案件では近畿初の事例（全国18事例目）になります。

流域の概要

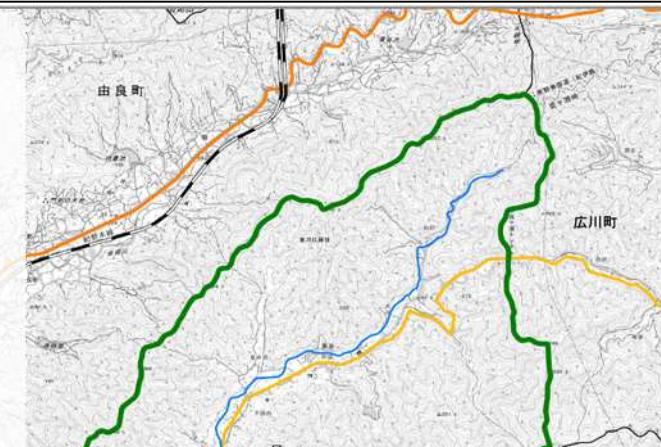
- 西川は日高川の河口付近で合流する一次支川
- 潮位の影響を受けやすく満潮時は水がはけにくい
- 下流域には、標高2m以下の低平地が広がり、役場や主要交通等の都市機能が集積

【流域諸元】

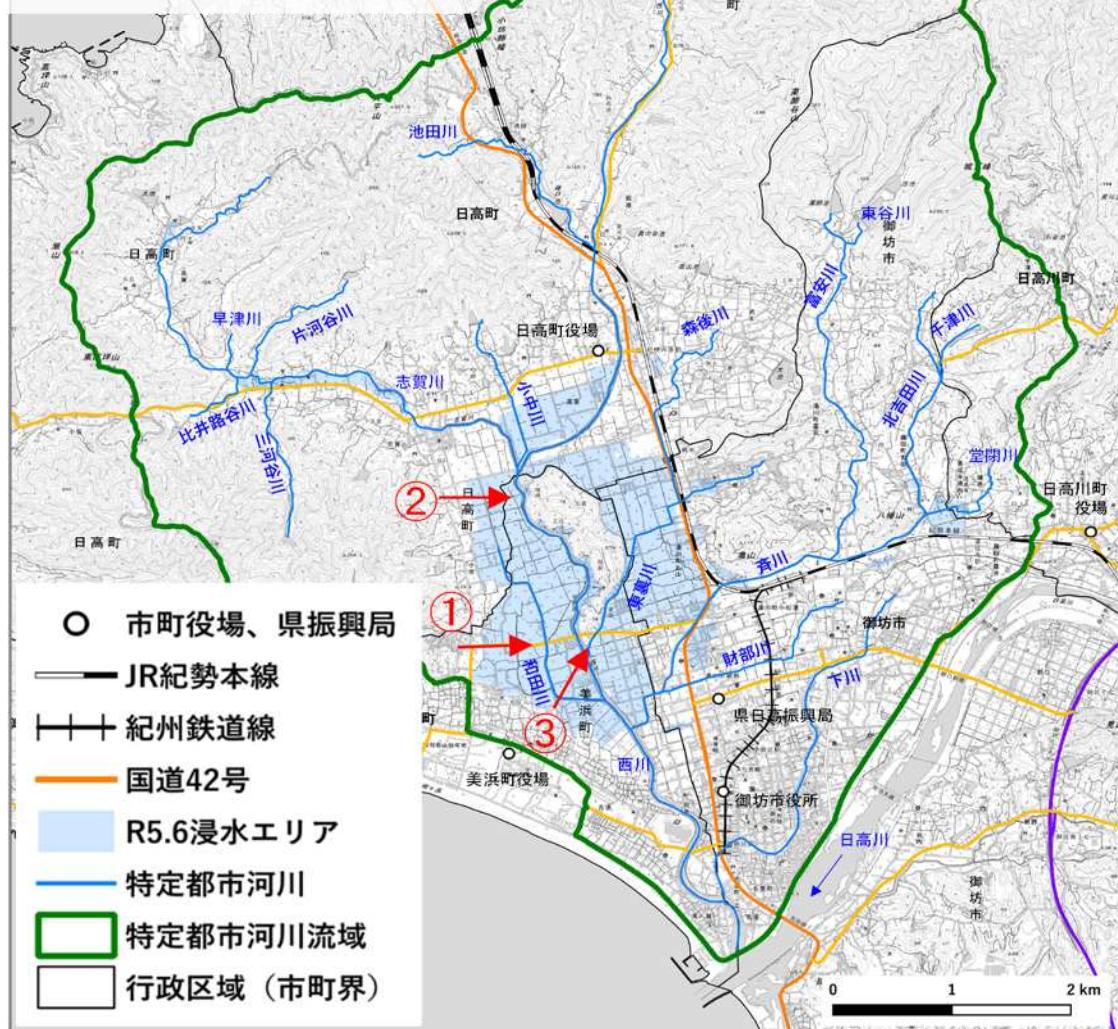
流域市町 御坊市、美浜町、
日高町、日高川町

西川及びその支川 計19河川で構成

西川の延長 14.5km、流域面積 53.5km²



位置図



近年の浸水被害発生状況

- 西川流域では過去から浸水被害が頻発
- 平成29年10月の台風第21号では、床上浸水2戸、床下浸水19戸の浸水被害が発生
- 令和5年6月豪雨及び台風第2号では、床上浸水22戸、床下浸水54戸の浸水被害が発生



①和田川・西川 (H29.10台風第21号) ② 西川 (R5.6豪雨及び台風第21号) ③東裏川 (R5.6豪雨及び台風第21号)

西川の特定都市河川の指定の経緯と今後の動き

OH29.10 台風第21号により床上浸水2戸、
床下浸水19戸の浸水被害が発生

OR3.6 西川流域の取組を含む日高川流域治水プロジェクトを策定

OR3.11 改正特定都市河川浸水被害対策法の施行
(流域治水の本格的な実践)

OR5.6 豪雨及び台風第2号により床上浸水22戸、
床下浸水54戸の浸水被害が発生

OR6.3 西川流域水害対策協議会準備会を開催 (県・流域4市町)

OR7.1 西川を特定都市河川として指定

○今後 西川流域水害対策協議会を設立し、流域水害対策計画を策定予定
流域水害対策計画に基づき、治水対策を強力に推進



和歌山県の特定都市河川西川について詳しく知りたい方は、県のHPにて
特定都市河川の指定等に関する各種情報を掲載しています。



特定都市河川の指定に関するHP
リンク先はこちらから！ 和歌山県 県土整備部
河川下水道局 河川課

その他、国土交通省特定都市河川ポータルサイトでは、特定都市河川浸
水被害対策法に基づく特定都市河川の指定等に関する各種情報を掲載
しています。

特定都市河川ポータルサイト
国土交通省 水管理・国土保全局

リンク先はこちらから！



きんきのダム巡り



引原ダム（兵庫県宍粟市）：兵庫県土木部河川整備課・総合治水課

引原ダムは、兵庫県の西播磨地域を南北に流れる一級河川揖保川の支川引原川の上流、宍粟市に位置しており、揖保川の洪水防御に加え、水力発電と西播磨工業地帯へ供給する工業用水の補給などを行う多目的ダムです。

昭和16年に揖保川河川統制事業として工事に着手しましたが、太平洋戦争の影響で労務・資材の供給に支障をきたし中断されました。その後、昭和28年に建設を再開し、昭和33年に完成した、兵庫県が管理するダムでは最古のダムです。

引原ダムの貯水池は音水湖と呼ばれ、カヌー教室やカヌーの競技場として大会が開催されるなど多くの人に利用されています。

また、音水湖周遊道路では、サイクリングで秋の紅葉を楽しみながら引原ダムの見学ができるイベント「秋を味わう引原ダム周遊サイクリング」が近年では人気を集めています。

サイクリング



カヌー



ダム見学



お花見スポットを紹介！！
～自然豊かな環境で心暖まる「ひととき」を過ごしませんか～



※写真は過去撮影した写真になります。

淀川の新たな航路 淀川大堰閘門『淀川ゲートウェイ』が完成！
～3/16 淀川クルーズ OSAKA BAY 新航路 OPEN FESTIVALを開催！～



さらさ担当者 今年1年を振り返って

○兵庫県

- ・さらさ現場勉強会では、大規模工事の見学や各府県市と意見交換会を通じて、とても貴重な経験をすることができました。

○奈良県

- ・現場勉強会は、普段携わらない都心の大規模な現場を実際に見学できて貴重な経験でした。

○京都府

- ・「さらさ」を通じて各自治体の取組を知ることができ、今後の取組の参考になりました。

○滋賀県

- ・各自治体の様々な取組を知ることができ、大変勉強になりました。
- ・現場勉強会は来年度もぜひ開催していただきたいです！



○堺市

- ・各都市の魅力的な取り組みを知ることができ、1読者としても楽しむことができました。また、記事作成にご協力いただいた皆さん、ありがとうございました。

○京都市

- ・京都市にはない大規模な工事現場の見学や他都市の河川事業を知ることができ、貴重な経験になりました。今後も、川の魅力を発信できるよう努めていきたいです。

○和歌山県

- ・12月の勉強会にて、普段は関わることのない大規模な工事現場を見学できただけで印象的でした。また、他府県市との交流も自分にとって非常に良い経験となったと感じています。ありがとうございました

○福井県

- ・さらさを通じて、近畿の川の魅力を再発見できました。ぜひ福井にも新幹線でお越しください。

○大阪府

- ・直轄事業の現場見学や自治体ごとの取組事例等を毎号知ることができ、大変貴重な経験ができました。



○神戸市

- ・普段見られないような現場の見学や各自治体の取組みを知ることができ、大変貴重な経験が出来ました。

○三重県

- ・他自治体の様々な取組が参考になりました。今後もさらさを通じた情報発信に努めてまいります。

○大阪市

- ・他自治体の取組を知ることができ、川に携わる職員としての成長のきっかけを得られました！

○近畿地方整備局

- ・府県・政令市で実施されている川の魅力を沢山知ることができ、とても良い経験ができました！ありがとうございます！！

■編集後記

今回の特集テーマは「河川の魅力と賑わい」として、本当に一度は訪れてみたい魅力的な記事が集まり、とても良い情報誌となりました。記事提供にご協力いただきました各府県市にこの場をお借りして御礼を申し上げます。

今度もさらに面白い河川等の情報を発信していきます！

編集担当:兵庫県 土木部 河川整備課

編集・発刊 : 三重県 福井県 滋賀県 京都府 京都市 大阪府 大阪市 堺市
兵庫県 神戸市 奈良県 和歌山県 国土交通省近畿地方整備局